



だいじな友だち、治してください



みのおライプラおもちゃ病院

『みのおライフプラザ』では毎月1回、おもちゃ専門の病院が開院する。今年の12月に活動8周年を迎えた『おもちゃリフレッシュ工房「ジョイフル」』の「みのおライプラおもちゃ病院」取材した。



活動の喜びは
子どもたちの笑顔

今回もたくさんのお親子がおもちゃを連れてやってきた。『みのおライフプラザ（総合保健福祉センター）』アトリウムで毎月第3水曜日に開催している「みのおライプラおもちゃ病院」は、おもちゃが元気を取り戻す場所だ。現在は7名の、おもちゃドクターと3名の、おもちゃナースが在籍しており、利用は原則無料（部品交換の場合等は要実費）。おもちゃたちをその場で「診察」・「治療」し、時間がかかるものは「入院」として預かって修理する。

「おもちゃ病院」として活動するグループは全国にある。本部である『日本おもちゃ病院協会』ではおもちゃドクターの養成講座を開講しており、会員は1400名以上。「みのおライフプラおもちゃ病院」院長の分島さんや、事務局の福井さんも講座で学んだ。会員でなくても、同様の活動に生きがいを感じる仲間が全国に大勢いる。

情熱の源について分島さん（表紙右）は「治ったおもちゃを見た子どもたちの笑顔です」と話す。自動車メーカーの技術者として勤め、定年退職後におもちゃドクターになったグループのベテランだ。上達には実践あるのみだが、20年以上の経験を積んだ今でも初めて見るおもちゃが多いそう。「問診で症状を聞き取るところから始めます」と分島さん。

ペントだ。「ゆっくり」は入院したおもちゃの引取場所や問い合わせ窓口となるなど、日頃から活動を支えている。

最後にいくつか利用上の注意を。エアガンや浮き輪など、安全性の問題で対象外としているものもある。また分解すると正規のサポートが受けられない場合があるため、保証期間内ならメーカーへの相談がおすすめだ。部品の調達困難やICチップの不良など、治療不能のケースはあるが、治療率は8割程度。「動かないから、さようなら」ではなく、親子で「みのおライプラおもちゃ病院」を訪れてみてはいかがだろう。おもちゃドクターたちの懸命な姿を目にすれば、ものを大切に心が育つに違いない。

知恵と工夫で治す おもちゃドクターたち



おもちゃナースのみなさん
主に受付を担当しており、取材当日もたくさんの親子を案内していた。布のおもちゃや絵本を制作する市民活動団体「you 遊オモチャBOX 箕面」のメンバーでもあり、ぬいぐるみが来院するとお直しをすることもあるそう。

これれ方も多種多様。破損や電池関連、ギア関連、センサー不良など、おもちゃドクターたちはあらゆるこれれ方に立ち向かう。「原因がわかってはも仕組みが千差万別だから、ひとつひとつ考えるしかないんですよ」。そう話す福井さん（右ページ写真の中段中央）は、悩みなながらも楽しくてたまらないという表情だ。どう知恵をしぼり、いかに工夫するかが腕の見せどころ。試行錯誤をくり返し、おもちゃがカタカタと動き出すと「動いた！」と笑顔に変わった。熱心にもぎ込んでいた男の子とお母さんも歓声をあげる。

「難しい故障にもチャレンジする少年のようなたちですよ」とおもちゃドクターを評するのは、会場のアトリウムそばにある『豊能障害者労働センター 福祉ショップ ゆっくり』の北川さん。実は現在の会場に決まるには、北川さんの協力が不可欠だった。8年前、さまざまな環境の変化で人通りが減っていた『みのおライフプラザ』。建物内の

多世代の交流で伝わる ものを大切に伝える心

の娘さんが好きだという電話のおもちゃ。ボタンを押すと音が鳴りやまず困っていたそうだ。「単純な修理であっても、喜んでもらえるのは嬉しいですね」と福井さんは言う。

治療の流れ

受付で記入してもらった問診票兼カルテや、持ち込んだ本人の話を聞いて症状を確認。このオルゴールは音が鳴らなくなったとのこと

部品ごとに診察し、どこに問題があるのか突き止める。「スイッチの接触不良かな…?」

原因は電池の入れっぱなしと判明。電池ケースをきれいに清掃する

動いた!

持ち主の声
3年ほど前、孫が生まれた頃に使っていたベビーメリーのオルゴール部分です。最近下のきょうだいが生まれて、久々に出してみると動かなくなっていました。無事に治してもらえたのできょうだい揃って同じベビーメリーが使えます。



『豊能障害者労働センター 福祉ショップ ゆっくり』のみなさん
「ゆっくり」は障がいのある人とない人が共に働くリサイクルショップで、おもちゃや無添加のお菓子なども販売。「おもちゃ病院」をきっかけに初めて来店される方もいます」と北川さん（写真右端）。

みのおライプラ おもちゃ病院

次回：12月19日(水)
次々回：1月16日(水)

時間 / 14:00 ~ 16:00
場所 / 箕面市萱野 5-8-1 みのおライフプラザ (総合保健福祉センター) 1F アトリウム
費用 / 無料 (部品交換の場合は実費)
問い合わせ / TEL 072-727-9547
(豊能障害者労働センター福祉ショップ ゆっくり)
※1 家族 3 件まで

おもちゃドクターから一言

おもちゃが動かない原因で意外と多いのが電池切れ。未使用の電池でも、保管状況によっては自然放電して電池が弱っている場合があります。動くおもちゃの電池と入れ換えて確かめてみてくださいね。

取材協力

おもちゃリフレッシュ工房「ジョイフル」
豊能障害者労働センター福祉ショップ ゆっくり